

Russian soldier cannot speak, for looking at wonderful sight

日本 萬歳 百擗 百笑

石橋の死狂言 骨皮道人  
 様でさくも芝居をすし、大でさくお模を  
 取のかり、況し人君と生れ、殊に戦争の  
 大活劇と未く世界の大舞臺へ飛出さる  
 小先づ敵陣へ跳び込む、敵兵をよむま  
 取ると種々の武藝があはさき答るに  
 露國の軍人みま度拘り骨のかん腰  
 抜けや、まも足も生ま  
 木偶の坊まかり  
 さらり武藝を  
 未だ例乃  
 無鉄砲益  
 槍大法螺と  
 吹の十八番で  
 其外の藝と云ふ、  
 持手固舞は危険い  
 綱渡りとも思つて居る、今及又大石橋の  
 怪面踊りといふ、死狂言をまろいさる、  
 ソで石橋と云ふ、おのハ鏡に紐掛り、  
 頭を冠つ、長い毛を振廻すもの、に彼奴、  
 例の大買付、續き、連も人君並に頭をあ  
 けるるが生末をいさる、た、無茶苦茶ま  
 目を廻すまろいさる、おのハ加減と云ふ、  
 笑まつたられ、態ぢやア無かつ、其とき



☒ 餘まり目を廻し、さるので  
 夫やアさうならう、どうせ  
 彼奴等ハ死人もの  
 思ふ頼ごうら

紅印

明治三十七年十月一日印刷 全年全月六日發行 印刷兼發行 者日本橋區吉川町二番地 松水平吉 電話浪花子百十六番

